

くろつち便り

今月の内容

新年の挨拶(会長) - 何とかせにやいかん! / Series学校現場から③ / ごてれつの独り言 / 共助会 - けせん団子作り(12/19) / 新春講演会 / 野草折々48(かたがな) / 金曜集会(1/7) / **次回の金曜集会は2/4日/17:00**



↑会報QRコード

明けましておめでとらさします

何とかせにやいかん!



松尾広豊美
くろつち会員の皆さん元気で新年を迎えられたでしょうか。新年早々このような表題はふさわしくないとお叱りを受けそうですが。

2年に渡りコロナウィルスの猛威にさらされ、少しずつ収束してきたかなという矢先に今度は感染力のさらに強い変異株が出てきて、さらに自粛を強いられそうな一年になりそうな気がします。

私はここ数年来、日本の先行きに暗雲が立ち込めて来ているような気がします。県内では憲法改悪を阻止するために絶対に当選させなければならなかった

野党統一候補を1区と4区で落とし、結果的には自民党が勝利し、日本維新の会が大躍進し、国民民主党とともに早々にも憲法改悪の動きが始まりそうです。選挙の結果からみても日本国民の右傾化が若い世代に限らず進んでいるのではないかと思われ

ます。こんな記事を目にしました。日本経済新聞が実施した世論調査で「台湾海峡の安定への日本の関与」に賛成と答えた者は自民党支持者で80%、公明党で70%、野党支持層で77%。どの世代でも賛成が反対を上回って、しかも60歳以上は74%、40~50代は80%、18~39代は69%が賛成と回答している。反中国意識か76年間の平和ゆえの蛮勇か、無知かは

分からぬが恐ろしい数字だ。日本人はいつからこんなに好戦的になったのか。と論説委員は書いています。私はこの記事を読み愕然としました。

憲政史上最悪だった安倍元首相が台湾へのオンライン演説で台湾有事は日本の有事であり日米同盟の有事であると言っています。なんと愚かな血迷った発言でしょうか。



私たちは長い間メディア等の対中国、対韓国、対北朝鮮への放送内容で知らず知らずに右傾化させられているのではないのでしょうか? 私はそう思っています。

私たちはこの日本の上にかかる暗雲を取り除くため、まだまだ元気で物言う年寄りであり続けたいと思います。今年も元気で生き抜きましょう。

シリーズ その③ 再任用に 学校現場から 求められること PartIII



2022年が幕を開けました。新学期が始まると、子どもたちだけでなく私たち担任も生活のリズムを整えなければなりません。いつも学期のスタートにあたり「宿題をやってない・・・」と嘆く担任がいます。中にはまだ夏休みの宿題も終わってないと、やらせている担任もいます。子どもたちが宿題を引きずってはいはスムーズなスタートができないことは分かっているはずなのに、やっぱり最後までやらせようとするのが教師の使命なのでしょう。私には変な癖のように思えます。

「冬休みは楽しいことがたくさんあるからとにかく遊びなさい。怪我には気を付けて!」と話して終わった今年の2学期終業式

でした。ほんの少しの課題に子どもたちも「たったこれだけ?」と驚いていました。3学期の始業式は満足した表情で登校してきた子どもたちでした。もちろん宿題が完璧というわけはありませんがこれも、「とにかく遊びなさい。」と言った担任の責任です。気分よく気持ちよくスタートすることが大事です。自分が準備した課題でストレスを溜めるのもいやなことです。



今年は特別に『お年玉』を準備して待ちました。突然のお年玉に子どもたちもびっくりしていました。もちろん中身は現金ではありません。興味津々で袋を開けた子どもたちから「やったー。」の声が上がりました。中に入れたのは、いつでも自由に使える『宿題パス券』3枚です。しばらくすると一人の子が、「先生袋の裏に先生から〇〇さんへと書いてください。」とやっ

てきました。言われた通り書いていると、いつの間にか残りの子どもたちも1列に並んで待っているではありませんか。お年玉をあげたかいがあったと思いました。

ところで、これからの子どもたちの宿題はタブレットを活用し、担任から配信された宿題を子どもたちに返信させるという仕組みを築こうとしています。これも時代の流れでしょう。相変わらずそんな仕組みに興味を示さない再任用職員です。

(文 大黒小 関下俊郎)

9条の会 新春講演会

馬毛島の軍事基地化を許さない。
講師 三宅公人さん
(馬毛島への米軍施設に反対する 市民・団体連絡会 会長)
日時 2月20日(日)
午後1時30分
会場 鹿屋東地区学習センター
連絡先 ☎44-9857 松下
※コロナ感染の状況によっては、中止の場合もあります。

共助会の郷土料理教室

共助会肝属地区事務局 矢野務

12月19日東地区学習センター調理室で郷土料理教室を行いました。退職者を中心に19名が4班に分かれ「けせん団子」「でんぶん汁」「カブの酢の物」「カボチャ煮」「コールラビーのきんぴら」「野菜サラダ」とたくさんのメニューの調理実習に取り組んでもらいました。野菜たっぷりの料理で試食させてもらいおなか一杯になりました。「コールラビーのきんぴら」は美味しかったなあ。「けせん団子」は蒸す時間



がちよっと足りなかったようなそんな意見もちらほらありました。

講師のお話の中で「カボチャはなり口から包丁を入れるのではなく、反対側が柔らかいのでそっちから包丁を入れたほうがいいですよ。」との言葉に一同「ほう!」。知らなかったです。

学習センターへ申し込んだ頃は調理室定員24名の半数でということでしたが、県内の感染状況の好転で定員いっぱいでもよろしいと許可が出て希望者全員参加できました。今回は現職の皆さんの参加がなくて残念でした。次回は内容を再検討したいと思います。



写真は坂田勝さん提供

共助会GG大会

グラウンドゴルフで、春を呼び込んでみませんか。

日時 2月13日(日)
会場 かのやグラウンドゴルフ場
予備日 2月20日(日)
申込/FAX 矢野40-2375
携帯 090-5736-6677
申込〆切 2月6日(日)

市議会選挙



今年鹿屋市議会議員選挙の年です。中馬美樹郎さんが2期目を目指してがんばっています。くろつち会も、全面的に支援していきます。
告示 4月17日(日)
投票 4月24日(日)

ごてれつ ひとり言

◆会合で「年々メンバーは年をとるけど、代わりの若者が・・・」と長息する声がよく聞かれる。故菅原文太さんと言えば、政治の役割で最も大事なものは「絶対に戦争をしないこと」と述べて、反戦を訴えたことで知られている。その菅原さんが「時代を拓くあなたへ」(新日本出版)の中で「若い人たちがよ立ち上がれ。吉田松陰よ出でよ。老人ばかりががんばってもダメなんだ」と述べているが、ここには諦念ではなく若者への期待も込められている。(下線は樋園)
十年ほど前世界中でベストセラーになった小冊子「怒れ! 憤れ!」(元レジスタンスの闘志で外交官ステファン・エセル著/日経

BP)の中で若者に「回りを見なさい。きっと、怒るべきテーマが見つかるだろう」と訴えたのも、同様に、若者に期待しての言葉だろう。
嘆息をもらすだけでは何も始まらないことは分かっているのだが・・・
◆おみくじなんて、かなり以前、知人のお付き合いで引いたことがある程度だ。それほど僕は神仏の加護なんて全く信じないのだが、何を思ったか正月初詣で何となく引いたら、何と「大吉」だ。大吉なんて生まれて初めてだ。気分最高、有頂天!(上「大吉」の写真)
人間都合のいい事だけは信じるらしい。心理学のプラシーボ効果によると思い込みも決して悪くはなさそうだ。今年はずっといいことがあります!(樋園)



金曜集会

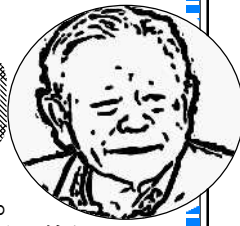
日没の遅い11月から翌3月までは17時からです。1月7日、行き交う車に向けて、原発反対や憲法改悪阻止を訴えました。次回は2月4日17時～



野草折々-48-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

カラタチバナ (ヤブコウジ科)



常緑小低木 果実は11月頃赤く熟す。「百両」とも呼ばれ、縁起物として正月の飾りに使われる。

写真は2021年10月21日野首岳で撮影

